

回覧

令和3年12月28日
太地町公民館

〔生涯学習講座ご案内〕歴史・自然講座No.7

「鯨遺産として残される鯨の墓、 戒名などについて」

講師 松井 進 氏(文化財保護審議委員)

★日時 令和4年1月19日(水) 13時30分～15時

★日程 13時30分～15時 講義・質疑応答

★会場 太地町公民館 第一研修室

★申込 1月5日(水)から 14日(金)まで

公民館(Tel0735-59-2335)へ

講師・松井 進 氏 紹介

太地町文化財保護審議委員。近畿大学農学部水産学科卒業、1970年(昭和45年)開館して間もないくじらの博物館に着任し、鯨類の長期飼育、博物館の創世に奮闘。その後、太地町役場に勤務された。著書に「目で見ると新宮・熊野の100年」(共著)「和歌山県太地町における鯨文化史考」「鯨料理の文化史」(執筆協力)等がある。

わが国は仏教信仰の影響もあり、鯨との関わりが江戸時代を中心に各地に残されています。それはかつて古式捕鯨を生業としていた地域をはじめ、鯨とは所縁のないと思われていた地域でも……。

鯨の墓や戒名(過去帳)の所在と地域住民の鯨への信仰、当時の時代背景について考察したいと思います。

※うら面もご覧ください※